

平成20年度第1回仙台市廃棄物対策審議会 議事録

平成20年8月29日（金）

9:30～10:30

仙台市議会第一委員会室

I 次第

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 委員及び事務局員紹介
5. 会長，副会長選出
6. 議 事
 - (1) 家庭ごみ等の有料化の現在までの進捗状況等について
 - (2) その他
7. 閉会

- II 出席委員数 出席 13名
欠席 7名（猪股委員，岡本委員，鈴木泰爾委員，千葉委員，野田委員，
紅邑委員，松坂委員）※野田委員については代理出席者あり。
（委員総数20名。詳細は別紙のとおり）

III 議事

議長(海野会長)	<p>議事を進める。審議会の運営要領で，署名委員を会長と一人選ぶことになる。名簿順で，本日は荒井委員に願う。同じく運営要領に審議会公開原則があるが，公開を妨げる議事はないと思うので公開とするが，よろしいか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>それでは，公開で議事を進める。事務局で用意した事案に従って議事を進める。特に付け加えることがあれば，最後に，その他の項目で発言してほしい。</p> <p>それでは，議事の1番，「家庭ごみの有料化の現在までの進捗状況等について」，事務局から説明願う。</p>
総務課長	資料2，3について説明。
議長(海野会長)	<p>今の説明に対する質問，意見等，自由に発言してほしい。</p> <p>私から，ひとつ質問するが，地区の説明会で出てきた意見で，受け入れられない意見，受け入れたいが，予算等の制約から受け入れがたい意見があれば，教えてほしい。</p>
総務課長	<p>少数意見だが，有料化の実施を先延ばしして欲しいという意見が一部にある。これに対しては，市議会で議決し，準備を進めているのでできかねる、と回答している。なお，その際に，ごみの有料化の目的と必要性，費用負担の適正化といった目的を説明して理解を貰うよう努めている。</p> <p>難しい意見としては，集積所ではなく，ごみを家の前に出して集める方式に変えるべきとの意見がある。あとは，集積所について，市で管理してほしいという意見もある。実際には，17,400箇所もの集積所を全て市が管理するのは，金額的な面もあるが，地域のもを行政が全て管理するというのは，実際上も難しいと考えている。</p>
議長(海野会長)	委員の皆さん，色々気づいたことがあると思うので，質問を提供してほしい。
吉岡委員	いくつか質問させて貰うが，ゴミ袋の費用を20%下げた，大で50円だったのを，40

<p>総務課長</p>	<p>円に引き下げたという経緯について最初に伺いたい。</p> <p>昨年の第3回定例会で議論され決まったが、当時の社会状況として、住民税の定率減税が廃止になり、生活が大変という声はかなりあったのが背景と思う。もうひとつは、有料化について報道されたが、現在10円で売られている袋が一举に5倍になるという報道がなされた。市としては、大袋ではなく、ごみの分別を進め、中、小サイズを使って貰うのが狙いと説明したつもりだが、市民に十分伝わらず、大袋の値段が一举に5倍になるという部分が強調されすぎてしまったというのが背景にあるかと思う。</p>
<p>吉岡委員</p>	<p>この値段で進めた場合、おそらくもって数年じゃないかと思う。最初にガンと上がるから、出す人は相当意識し、リデュースのほうに行くと思うが、慣れると結局元に戻る心配がある。極端な価格設定をすとか、抜本的に考えないと、ごみを減らすのは難しい。短期的なことで終わるのではないかという心配がある。</p> <p>それと、ごみの処理は、ほとんど焼却で、ごみが焼却場に行くのは目に見えるが、減らした分はどうなるかといったときに、リサイクルやリユースに回るという話はよく聞く。色々あると思うので、明確にここで使われるということを示すのは、困難と思うが、地元産業とかと密接した形で、リサイクルに回した分は、こういう形で活かしているというのを明確にする手法があるのではないか。法律の枠組みにとらわれず、フットワークよく、そういう施策を出してもいいのではないか。一度出した施策を、いつまでも続ける必要はない。ひとつの社会実験で、失敗したら止めてもいいと思う。市民の声を聞きながら、変更しても構わないと思う。有料化に対し、長い時間かけてやってきたのは評価するが、フットワークよく、いい方向を模索するようなことを行政に取り入れてもいいのではないのかと思うので、そういったところを意識してほしい。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>完璧な制度というのは難しい。制度を変えるのは、色んな点で抵抗があるが、制度の修正を埋め込んだあり方が望ましいと思う。社会情勢も変わるし、新しい社会実験が始まったというふうに位置づければいいだろう。</p> <p>他の方からも、願います。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>集積所対策という部分で、学生、単身世帯等の適正排出の呼びかけをしていると伺った。同時に説明会で、3,138団体、187,000人に説明をしたという状況だが、本当に単身世帯に適正排出の考え方が流れ、実際始まったとき大丈夫なのか疑問を感じる。同時に、私達事業者は、現在、カラスマーク入りのレジ袋をごみ袋として出せるということでやっている。市民、あるいは客に対し、今後使えなくなるというような情報は提供しているが、本当に大丈夫なのか不安を感じる。そういう意味で、うまくいかない時のポイントは、どこに置いているのか考え方を教えてほしい。</p>
<p>総務課長</p>	<p>単身世帯向けのPRから説明するが、指摘のとおり、若者、単身世帯に行政情報を伝えるのは難しいと実感している。それで、例えば、POPをごみ袋を売っている場所に掲げ、買いにくる人が必ず目に付くようにしたり、企業、大学向けに、一般の有料化のポスターのほかにポスターを作ったりして工夫している。あとは、これから実施することだが、地下鉄仙台駅に、若者向けのデザインの柱貼広告の掲示も予定している。</p> <p>10月以降どうなのかだが、実際にルール違反のごみが出た場合は、取り残しをする。このごみにはルール違反というシールを貼り、その日は回収せず、次の家庭ごみの収集日に回収する。3日、4日、現場にごみが残し、出した人に、自分のごみがルール違反なんだと理解して貰う。それでも直らない場合には、市で袋を開け、誰が捨てたのかを特定し、直接話をするといったことまで考えている。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>今、チェーンストア協会の加藤さんから質問を頂き総務課長から回答があったが、立場により抱えている問題は違うと思うので、多くの方々、それぞれの立場を踏まえ、あ</p>

<p>鈴木金昭委員</p>	<p>るいは一市民、仙台市で働いてる一人の人間として発言して頂きたい。</p> <p>環境問題については総論賛成だが、有料化という各論には反対というのが、一般市民の感覚だろう。多少神経質な部分もあると思っているが、状況がよくないのは、物価高とごみ袋が連動してるのではないかという雰囲気があるためだと思う。だから、この1ヶ月間でもっと集中して、ごみ減量がメインだということを知らせる方法を考えないといけない。改めてなぜ有料化するのかも含め、この1ヶ月間、集中して広報して欲しい。このポイントはしっかりとやるという点について事務局は考えていると思うが、決意表明も含めて、お聞かせ願いたい。</p> <p>色んな業界、市民一人ひとりが、環境について、真剣に取り組んでいることはわかっているんで、もう一度観点を絞りながら、その活動をしっかりやって貰えればと思う。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>時間も限られているので、何人かまとめて事務局のほうから願います。</p>
<p>矢吹委員</p>	<p>今回のパンフレット等は、2年間、我々がアピールしてきたことが盛り込まれており、施策も、なかなか良く表現されているが、目的が何なのかまだ理解されていないと思う。やはり有料化という結論が先にある、と受け取られているところがある。説明会にたくさんの方が参加し、その人たちは理解もしたと思うが、ごみを分別する必要性、環境にかかる負荷が少ない暮らしということを先ず伝えることが大事ではないかと思う。</p> <p>もうひとつは、マスコミ対策を考えてほしい。総論賛成、各論反対というが、昨今は、有料化に批判的な論調の記事が多い。どうして審議会が認めたのかというようなことも書いてあったが、批判は批判としても、なぜ有料化せざるを得ないのかということ、マスコミ各社の協力も貰い、プラスにしていくということが可能なので、アプローチの仕方というか、協力して貰えるよう説明し、そういう報道をして貰うよう願ったほうがいいのではないか。方法は色々あると思うが、それは行政の仕事だと思うので、力を入れて貰いたい。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>たくさんたまると大変かと思うが、もうひとつ方ぐらい意見を貰う。</p>
<p>庄司委員</p>	<p>集積所で色々トラブルになるかと思うが、市職員による全ての集積所での早朝巡回排出指導は環境局だけで対応できるのかどうか。町内会長はじめ、役員の皆さん、当初のトラブルという部分で心配している。そのへんの対応策、支援策をお聞かせ願いたい。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>では、連合町内会の会長から、意見、質問を貰い、環境局から回答して貰う。</p>
<p>佐々木委員</p>	<p>今、物価高なんかで生活は苦しい。月収が15万円程度の方がたくさんいる。生活のことを論じたら、到底常識外の低い水準で生活している。将来、捨てるものが増えるという危惧も、生活程度が上がれば、そういうことはあるだろうが、現時点で考えると、到底そういうゆとりは出てこない。家庭ごみ減量の本来の意味は、資源を大切にしようという理念がなければ続かないと思う。資源を大切に、物を大事に、粗末にしないという姿勢を、もっと行政も、町内会も、指導にあたる方は強調してほしい。地球上の資源そのものが減ってきているので、そういう思想を色々な手段で普及してほしい。</p> <p>それで、出発した以上は、1ヶ月間は、いいところも悪いところも出てくると思う。やってみて、こういうところが足りない、これがよかったということも出ると思う。夜中にポイ捨ても出てくると思う。そういった現象を、実際に見て、体験することから、解決策を見出すということでやってみて、1ヶ月位して、早ければ再出発みたいな考え方、作業が出てくるかもしれないが、現在は、何とか10月から推進していこうということでやっていくよりほかない。町内会ではそんな思いでやっている。</p> <p>もうひとつは、前から申し上げているが、マンションやアパート、ワンルームも、学生も、町内会と色々なトラブルがあるということも、対策の中に入れてほしい。我々は、</p>

	<p>マンションのオーナーと管理業者と接点を持ちたいということの前から叫んでいるが、実現されていない。ごみの問題とも、多少関わりが、10月には出てくると思うので、その上でマンションに対しては、もう少し大きな目で、業者と管理者と町内会との話し合いをすべきだと思っている。これも大きな減量の要因になると思う。</p>
議長(海野会長)	<p>それでは、いくつか論点があったが、環境局から願います。</p>
環境局長	<p>私どもも、有料化が決まってから18万人以上の方に説明をし、町内会についても、ほとんど全てに説明した。その間、今、出されたような話もある。</p> <p>大きく分ければ、目的、必要性の議論、これは有料化の導入が決まった当初、色々あったが、実施直前に至り、だいぶ理解は広まっていると認識している。更に説明すべきとの指摘もあったが、こういった目的のもとに、こういった目標を持って、そうすれば、資源循環、地球環境保全にも効果が上がるという形で、引き続き説明をしていきたい。</p> <p>あとは、総論賛成、各論反対という観点のなかでも、今、色々な面で格差が拡大している社会環境があり、地球環境保全、資源循環のためには、有料化やむなしという点では、だいぶ理解は広まっている。ただ、そういった中でも、今回の設定は負担が高いという指摘もある。料金設定というのは、非常に難しい課題があり、減量効果と負担感のバランスで設定せざるを得ない。負担感がないと、減量に結びつけることが困難になる。市では、当時50円という水準だったが、議会で、格差拡大社会の問題意識のなかで、市民の環境意識の高さも鑑み、2割削減となった。ぎりぎりの水準と当局側では受けとめている。この点については、色々な水準があるが、市民の環境意識の高さは、説明会でも実感しているので、これでも減量効果は上がると認識している。</p> <p>また、不法投棄の懸念については、制度変更時には、必ず問題視されることで、プラの分別回収、粗大ごみの有料化の際にも、不法投棄が増えるという懸念があった。家庭ごみの有料化についても、どの都市でも導入の際は、そういうのが拡大して大変だという懸念があったが、全庁一丸となった対策を色々やっていくし、地域の協力も貰い、そういった懸念にならないよう頑張りたい。アパート、マンションとか、若者とか、そういった対策についても、今後とも継続して、一生懸命取り組んでいきたい。</p> <p>市職員による排出指導の実際の中身は、環境局だけではなく、全ての部局の職員を動員して、全ての集積所について、延べ5,000名体制で巡回排出指導をする。</p> <p>いずれにしても、有料化は、全国的には6割以上の市町村で実施してるとはいえ、大きな制度改革だ。全市民に関する大きな問題なので、マスコミも含め、市民の理解を貰えるようなわかりやすい説明を、今後とも徹底し、円滑な導入が図られるように努めたい。</p>
議長(海野会長)	<p>今、山内局長から、包括的な話があった。ここで審議会を終わるのが自然だが、まだ発言してない方が何名かいる。自己紹介も含め、決意表明とか、追加的な質問でも結構だが、よろしく願いたい。</p>
荒井委員	<p>家庭の収入も減り、物価高の傾向にもあるから、ごみの有料化は、一般家庭にとって打撃と感じられると思うが、リサイクル率を高めたり、分別を徹底することにより、ごみを減量すれば、一軒あたりの出費も減るということを逆にアピールできるいいチャンスとも思う。報道も、そういう観点に立って、高くなるということだけではなく、出費も減り、地球環境にもいい影響を及ぼすということをアピールをしてほしい。実際に努力して、実行した人にメリットがあることを広めていくことが大切と思う。</p> <p>それから、生ごみ堆肥化のために、電気の処理機を補助する制度、2千台の予算がさらに3千台の枠を確保しているという話だが、かなりの費用になると思う。電気もいいが、段ボールで行う方法もあるから、こういったところも、もう少し広めて、実際に堆肥にした人も、それが置きっ放しにならないように、野菜と交換できるとか、そういったことも、もっと徹底して広報したらいいと思う。</p>

議長(海野会長)	市のほうでは、今の発言を念頭において進めてほしいと思う。そのほかの方で、まだ発言していない方、2、3いるかと思うが。
鈴木昇委員	9月から集中的に広報活動することは非常に大事だが、本番となったとき、集積所、それ以外での不法投棄、想定範囲内ならある程度対応できるだろうが、有料化前ですら、電化製品とか、色んなものが捨てられているのを見ると、想定外のものが結構出ると感じるが、そういう事態になっても、真面目にやっている市民に対して、いかに小回りのきいた対応ができるか求められてくる。巡回、パトロールが全て予防策になるかどうかは疑問だ。そのあたり、今言った場面で、迅速な対応を考えてほしい。
議長(海野会長)	そのほかの方からも、簡潔に発言してほしい。
内田委員	ごみの有料化が着目されているが、もうひとつ、紙類定期回収が無料で始まるが、ごみを減らそうと思ったとき、リデュースが一番だが、パッケージは減らせない。物を買わないとはならないので、リサイクルするしか減量できないと思うが、紙の定期回収があまり知られてない。子ども会などの資源回収で行っていたものを定期的に月2回行うということをもう少しアピールしたらどうかと思う。その場合に、不適な紙類が混ぜて出された場合、どう対応するのか気になる。こちらのほうの回収の仕方について、もう少しアピールしたらどうかと思う。
議長(海野会長)	市で留意してほしい。そのほかいかがか。
高橋委員	おむつの話があったが、里帰り出産とか、そういったことに関して、住んでる方だけなのか、そういったことも含めて聞きたい。それから、クリーニングカバーだが、22店舗というのは、多いのか、少ないのか、これから増えると考えたほういいのか、どういう数字なのか。最後に、小学校に勤務しているので、清掃工場の見学等で、小学校だと3年生が、校外学習で行くことが多いが、無料バスの送迎など、そういったアピールなどもしてほしい。学校でも、できるだけ子供達に話をしていくようにしたい。
議長(海野会長)	ちょっと具体的なので、事務局のほうから、簡潔に願う。
環境局長	里帰り出産の場合でも、市内で排出されるごみは、当然、市で処理する。次に、クリーニングの22店舗というのは、まだまだ少ない状況なので、さらに拡大するよう努力していきたい。あとは、啓発関係については、今後、さらに色々努力していきたい。
総務課長	付け加えるが、ワケルくんバスというごみの施設を見学するバスがある。乗車定員が40名なので、1クラスずつになるが、リサイクル推進課に申し込めば、無料で送迎する。
議長(海野会長)	まだ発言を頂戴したいが、時間が迫っているので、簡潔に願う。
荒白氏 (野田委員の 代理出席)	環境循環型社会という白書を見ていたら、江戸時代の循環型社会が詳しく紹介されており、当時の江戸社会が、世界でもきれいで清潔な街だったという高い評価をされていたという話、それから、6月に、スペインで博覧会をやっていたが、その中で皇太子殿下が、江戸時代の再循環型社会の紹介をしたり、色々な動きがある。 ごみについては、後ろ向きではなく、明るい社会運動にしていく仕組みを実践してほしい。ごみ袋の後ろは、何も印刷されていないと思うが、そういう場所を使い、市民に登場して貰うとか、物を修理する店を紹介するとか、そういう活用も考えられると思う。
議長(海野会長)	色々意見を貰った。もっとたくさんほしいが、意見とか、質問とかあったら、環境局にEメールで、寄せてほしいと思う。

<p>○平賀副会長</p>	<p>2番目のその他の議題の前に1番目の審議を総括して、平賀副会長から一言ほしい。</p> <p>簡単だが、花まるチームを作ったらと思った。一生懸命やっているところには、色をつけて花まるをあげる。</p> <p>それと、3ヵ月後位に経過報告をしてはどうか。やってどうだった、こうだったということ、マスコミに、この点がよかった、だめだったということを知って貰う。そういうことをやってはどうかと思った。</p> <p>この表紙の裏側だが、同じ字で書いてある。そうすると読まない。どうしても言いたいことを、太字で大きく、強調するように書く。環境、リサイクル、ごみ減量ということ、明るい社会ということ、それと、もったいないということから始まっている。このごみの減量というのは。それを、今度、なにか出すときは考えたらいいと思った。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>そういうことも含めて、今後、我々として、市環境局とともに、いい制度を作るべく努力していきたい。それでは、1番目の議事は終わり、2番目にその他があるが、事務局で、なにか用意したものがあるか。</p>
<p>総務課長</p>	<p>次回の審議会だが、事務局としては、家庭ごみ等の有料化の実施状況について、不適正排出の状況だけではなく、ごみ減量の効果についてもある程度整理した上で報告したいと考えている。次回については、2月頃を予定している。その際に、一般廃棄物処理基本計画についても、報告したいと考えている。</p>
<p>議長(海野会長)</p>	<p>次回の審議会は、状況を見ながら相談をすることになると思う。</p> <p>課長の発言にあったが、一般廃棄物処理基本計画をどう改訂するかが、次の大きな目標だ。市の廃棄物計画のグランドデザインなので、フィロソフィーの問題から実現可能性の問題まで睨んで、事務局、審議委員の力量、さらに、マスコミがそれをどう前向きに提示していくか、ここにいる全ての人の力量が問われる問題かと思う。互いに切磋琢磨し、それぞれの業務において、問題点を踏まえて活発に審議できればいいと思う。</p> <p>今日は、十分に発言してもらえなかったが、時間は限られているので、それ以外のところで、有効に電子媒体も使いながら、議論を活性化させていきたい。ぜひ、楽しく、為になる審議会を作っていきたい。</p> <p>(閉 会)</p>